やまみなみ校園長だより No. 32

令和５年３月２２日
岸和田市立山直南小学校・幼稚園
校園長　仙石　晴彦

子どもたちの交通安全指導にご協力ください

〇先日、山直南地区市民協議会の青少年部会にて、今年度のこの校区の交通事故等の状況についての報告がありました。
報告によると、残念ながら今年度の交通事故の発生件数は昨年度より増加している傾向にあるということでした。

〇この山直南校区や周囲の近接地では、近年の土地開発、バスの新規路線の設置、住民の増加など、便利で快適な住環境が整ってきています。しかしその一方で、古くて狭いままの道路事情に対して、通行車両だけは右肩あがりに急増しているという、交通安全面においてはリスクが急激に高まっているのが現状です。

〇私も着任以降、子どもたちの交通安全意識の向上こそが大きな課題であると考え、学校で行うことができる様々な交通安全指導を進めてまいりました。しかしながら、こういった子どもたちの意識の向上というものは、一朝一夕に達成することができるものではありません。

〇校区の見回り活動などにおいても、道を広がって歩いていたり、グリーンベルト（通学路視覚認識用通行帯）を外れて歩いていたりする場面なども多く見かけます。その都度、声をかけたり、注意を促したりはしているのですが、なかなかに改善していかないのが現状です。

〇交通事故によりそれまで幸せだった人生が、一瞬にしてつらく重い人生になってしまうという話は、よく耳にすることだろうと思います。しかし、そういった不幸が自分にも降りかかってくるかもしれない、気をつけないといけないと考えることができる人は、案外、少ないかもしれません。

〇交通安全指導は学校だけで成立するものではありません。ある意味、家庭や地域での声がけこそが大切なのかもしれません。地域の宝である子どもたちを、私たち大人が力を合わせて、見守り・育てていく必要があると思います。ご協力をよろしくお願いいたします。